

| | | | | |
|--------|-------|------------|----------------|----|
| 報道関係各位 | 発信年月日 | 令和8年6月9日 | 送付枚数 (本紙含む) | 1枚 |
| 学校名 | 学校長名 | 担当者職氏名 | 連絡先電話番号 | |
| 高泊小学校 | 安重 美穂 | 教頭 木下 実 | (0836) 83-2118 | |

件名 **6年児童が厚狭明進高等学校で「梅玉ドレッシング」づくり**

内 容

本校で収穫した梅の活用を考えていた6年生が、厚狭明進高等学校が地元の食材で山陽小野田市のふるさと納税の商品になっている「梅玉ドレッシング」を作っていることを知り、相談したことをきっかけに本校の梅を活用していただけることになりました。

この度、本校6年生が厚狭明進高等学校を訪問し、高校での「梅玉ドレッシング」づくりに参加します。「梅玉ドレッシング」がどのようにして生まれたのか、どのようにして作るのか、どこで販売しているのかなどの小学生の質問に高校生が答えたり、ドレッシングの材料となる梅シロップを一緒に作ったりします。



今後、6年生は「梅玉ドレッシング」を使ったレシピを考えたり、高校生と一緒に梅シロップの実を使った梅ジャムでマドレーヌを作ったりなどと、年間を通じて交流、学びを続けていきたいと考えています。

今年度、本校は、山口県教育委員会の「あこがれの連鎖で紡ぐキャリア教育推進事業」の推進校として、小・中・高等学校・地域産業等との連携・協働した活動を進めています。地元のを生かして商品活用している少し上の先輩である高校生との皆さんとの協働活動をとおして、「誇りと愛着」「あこがれ」が醸成されるものと期待しています。

- 1 日 時 6月15日(月) 13:20~15:20
- 2 場 所 山口県立厚狭明進高等学校
- 3 内 容 6年生が、厚狭明進高等学校で、高校生と本校の梅を活用した「梅玉ドレッシング」の材料となる梅シロップづくりを行います。
- 4 参加者 6年児童38名 厚狭明進高等学校生徒17名
- 5 その他 取材される場合は、事前に連絡をお願いします。

FAX 発信者：山陽小野田市協創部シティセールス課

電話 (0836) 82-1148 FAX (0836) 83-9336